

# 衆議院東日本大震災復興特別委員会ニュース

平成 25.5.8 第 183 回国会第 7 号

5月8日(水)、第7回の委員会が開かれました。

## 1 東日本大震災復興の総合的対策に関する件

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) (午前) 大熊町商工会会長	蜂須賀 禮 子君
双葉地方農業共済組合組合長理事	山 田 四 郎君
福島県川内村長	遠 藤 雄 幸君
南相馬市立総合病院副院長	
広島大学客員教授	及 川 友 好君
(午後) 塩釜商工会議所会頭	桑 原 茂君
名取岩沼農業協同組合青年部委員長	今 野 裕 章君
石巻魚市場株式会社代表取締役社長	
石巻市水産復興会議副代表	須 能 邦 雄君
宮城県女川町長	須 田 善 明君
東日本大震災復旧・復興支援	
みやぎ県民センター代表世話人	綱 島 不二雄君
有限会社かくりき商店専務取締役	小堀内 将 文君

(質疑者及び主な質疑内容)

(午前)

### 津 島 淳君(自民)

- ・コミュニティを維持するためにも、仮の町における商工業者の事業再開を進めるべきと考えるが、蜂須賀参考人の所見を伺いたい。
- ・東京電力による損害賠償について、農機具類等の賠償について様々な書類の提示を求められ、農業者が困っていると聞いているが、実情を山田参考人にお尋ねする。
- ・健康不安を抱える原子力発電所事故の被災者のために、健康管理手帳を発行することについて、及川参考人はどのように考えるか伺いたい。

### 吉 田 泉君(民主)

- ・事故発生当時に福島第一原子力発電所から20～30km圏内に出された避難指示により、物流や医療の面でも様々な問題が生じたとのことだが、及川参考人は、避難指示区域は距離によらず放射線量で決めるべきと考えるか。
- ・福島第一原子力発電所から20km圏内にある地域の復興を諦めれば、この地域の住民を強制避難させることになり、問題があるのではないかと考えるが、及川参考人の見解を伺いたい。
- ・福島県双葉郡では、廃棄物処理や病院・学校等を広域市町村圏組合で運営してきたことから、住民の帰還に向け

て、広域合併も視野に将来の双葉郡の在り方を検討すべきと考えるが、遠藤参考人の所見をお尋ねする。

### 小 熊 慎 司君(維新)

- ・様々な理由により避難している住民が帰村しないことから、人口の減少が懸念されるが、国政はどのような対策を講ずるべきと考えるか、遠藤参考人に伺いたい。
- ・福島県外への自主避難者に対する生活支援は、福島に戻るための取組と逆行するのではないかと思うが、遠藤参考人はどのように考えるかお尋ねしたい。
- ・福島第一原子力発電所から半径20km圏内の土地を国が買い上げるという提案について、及川参考人に意見を伺いたい。

### 石 田 祝 稔君(公明)

- ・遠藤参考人が川内村村長として帰村宣言の決断をしたのは、放射線量などの数値的なものによるのか、村民の気持ちを考えて帰村可能と判断したのか、その理由をお尋ねしたい。
- ・川内村の人口を2013年から5年間で震災前の数に戻す計画を立てているが、その内容について遠藤参考人に伺いたい。
- ・及川参考人は震災直後には4,000ベクレルの内部被ばくを

していたとのことであるが、現在の被ばく線量はどの位か。また、チェルノブイリ原発事故で安全と言われた被ばく線量値が普遍的なものとするのか伺いたい。

### 柿 沢 未 途君 (みんな)

- ・東京電力は福島の復興及び再生のためにどのような役割を果たすべきと考えるか、蜂須賀参考人及び山田参考人に見解を伺いたい。
- ・バイオマス発電やコジェネレーションを推進する動きがあり、川内村でも木質バイオマス発電を検討していると聞いているが、エネルギーの地産地消を目指す遠藤参考人の考えを伺いたい。
- ・及川参考人のお話で、脳卒中が増加しているとのことであったが、その背景についてどのように考えるかお尋ねしたい。

### 高 橋 千鶴子君 (共産)

- ・福島第一原子力発電所事故を踏まえれば、原発については再稼働をしないことが求められていると考えるが、国会の事故調査委員会でも活動された蜂須賀参考人の考えを伺いたい。
- ・原発事故による賠償については、再建途上にあるのに賠償金に課税されるなど問題点もあることから、賠償についてどのように考えているのか山田参考人にお尋ねする。
- ・帰村宣言した川内村では、村役場が先頭に立って住民の帰村を進めており、職員も大変な苦勞をしていると思うが、その点について遠藤参考人に伺いたい。

### 畑 浩 治君 (生活)

- ・福島第一原子力発電所の事故以後、原発はないほうが良いという考えがある一方で、代替エネルギー問題等の問題も存在する。原発や原発ゼロに対する考えをすべての参考人に伺いたい。
- ・個人で採取して食する山菜や野菜、魚などについても、住民が放射線量を測定できるよう、身近な公民館などに測定器を設置すべきと考えるが、遠藤参考人及び及川参考人の見解を伺いたい。

(午後)

### 門 博 文君 (自民)

- ・被災地以外の地域がどのような試みをしてくれたら、被災地の助けになると思われるか、すべての参考人に伺いたい。
- ・現在、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模地震が想定されている。もし、東日本大震災発災の1年前までにカレンダーを戻せるとしたならば、何をしてあげば、

復興を速やかに行えると思われるか、須田参考人に伺いたい。

### 郡 和 子君 (民主)

- ・水産業の雇用と人材教育について、文部科学省による水産高校のカリキュラムと現場で求められている人材がうまくかみ合っていないという話を聞くが、どのような取り組みが必要だと思われるか、須能参考人に伺いたい。
- ・被災求職者を雇用した場合に適用される事業復興型雇用創出助成金制度は期間限定との制度とも考えられるが、今後も必要な制度であるとするか、小堀内参考人に伺いたい。
- ・土地区画整理に際して、土地の権利調整が難しいということであるが、土地の収用に関して具体的にどのような問題点があるのか、須田参考人に伺いたい。

### 小 熊 慎 司君 (維新)

- ・平時でも過疎化が問題となっているが、女川町は東日本大震災により甚大な被害を受け、人口流出が進んでいることから、復興を進めるために、どのような対策を有効であると考えているのか、須田参考人に伺いたい。
- ・原発事故に伴う放射性物質の放出によって生じた宮城県の風評被害や賠償の状況及び今後の対策について、今野参考人、須能参考人及び小堀内参考人に伺いたい。

### 中 野 洋 昌君 (公明)

- ・漁業、水産加工業等の復旧・復興については、担い手不足、売上の低迷等の問題があるといわれているが、現場はどのような状況にあるのか。また、国に対してどのような支援を求めているのか、桑原参考人、須能参考人及び小堀内参考人に伺いたい。
- ・農業の復興を支援するため農業機械や施設をリースする場合に補助を行う「被災地域農業復興総合支援事業」については、法人化を要件とする等ハードルが高いとされているが、どのような問題があるのか、今野参考人に伺いたい。
- ・震災からの女川町の復興は、まちを一つ創る作業に等しいと考えるが、同町のマンパワーはどのような状況なのか、どのような人材が不足しているのか、須田参考人に伺いたい。

### 林 宙 紀君 (みんな)

- ・現在の復興交付金制度にある5省40事業には経済産業省の事業は入っていないことから、20年後を目指した復興は達成できないと考えるが、どのような事業を入れるべきか、須能参考人の意見を伺いたい。

- ・女川町では、コンストラクション・マネジメント方式を採用して復興の推進を図っているが、この方式であれば資材や人件費が高騰しても影響を受けないと考えるか、須田参考人にお尋ねしたい。
- ・宮城県の水産特区について、会社に漁業権を付与すること自体に反対なのか、地元の漁業関係者の合意があればよいと考えるのか、網島参考人の意見を伺いたい。

### **高 橋 千鶴子君（共産）**

- ・グループ化補助金について、交付決定前の復旧費も対象となる「さかのぼり適用」が廃止されることから、被災地では困惑の声も上がっており、今後も拡充が必要と考えるが、桑原参考人の考えを伺いたい。
- ・復興公営住宅については、被災住民が主役となり建設を進めていくべきと思うが、須田参考人の考えを伺いたい。
- ・T P Pについては、農業に比べて水産業は影響が少ないという見方もあるが、どのように考えるか須能参考人にお尋ねしたい。

### **畑 浩 治君（生活）**

- ・これからは被災地の資源を生かし、自立して前向きに復興を進めていかなければならないが、そのためには必要なものは何と考えるか、小堀内参考人にお尋ねしたい。
- ・復興がまだ途上にある段階で、これからT P Pや消費増税、円安や価格高騰などの逆風が予想され、被災地へのしわ寄せが懸念される。これから商工業や水産業に何が必要か、桑原参考人、須能参考人及び小堀内参考人に考えを伺いたい。
- ・復興のための財政支援については、自由度の高い復興基金の積増しを要望する声もあるが、現行制度をどのように改善すれば使い勝手が良くなるか、須田参考人にお尋ねしたい。